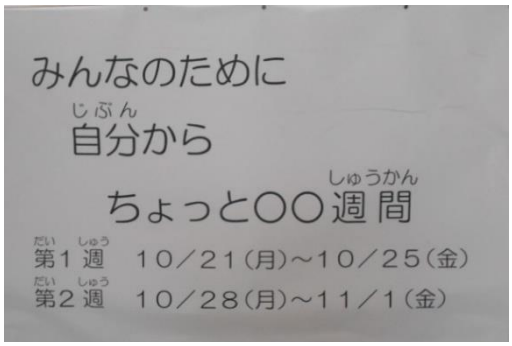
鈴鹿市立明生小学校

明生の旗高く

＜ 学校教育目標 ＞
地域とともに
明るく元気に生きる
明生の子

■ みんなのために　自分から



今年度、明生小では「自分から」を生活指導の共通テーマとして取り組んでいます。

10月21日からは二週間にわたり「みんなのために　自分から　ちょっと○○週間」として、子どもたち一人ひとりが他の人のためにちょっとした親切な行動をするようにしています。○○には例えば「ゴミを拾った」「机を並べ直した」などがあてはまります。

この活動により、他者を思いやり少しでも学校生活がよくなることを願い、同時に非認知能力の「社会性」「自己肯定感」を育むことをめざしています。

■ 就学時健診

10月24日に来年度新入学児童を対象とした就学時健診を行いました。

来年度就学予定の47名全員が受けることができました。初めての学校に戸惑うことなく、しっかりと受診している姿が、印象に残りました。

私からは入学までに「おはよう・ありがとう・ごめんなさい等のあいさつができるように」「衣服の着脱を一人でできるように」「名前を呼ばれたら返事ができるように」ということをお伝えさせていただきました。在校生の皆さんもできていますか？

入学まで残り半年の間にはまだまだ準備をしていただくことがありますが、健診結果に応じて心身の準備をお願いします。不安なことなどありましたら学校までご相談ください。

■ 焼いも大会

11月2日(土)あいにくの雨でしたが、早朝から地域協働活動委員会の方のお世話で石を焼き始めていただきました。開始予定の９時半前には、来校いただく姿が見え始め

ました。

今回は、保護者の西嶋さんにもご協力いただき、綿菓子の振る舞いと駄菓子の販売がありました。焼いもは焼き上がるまでお待たせするような場面もあったのですが、駄菓子コーナーがあったことで、退屈せずに待っていただくことができたようでした。

春から苗を植え、暑い夏には育ちの心配をしながら除草などの世話をしていただいてきました。前日からかまどを設営し、当日も雨の中、美味しい焼いもを作っていただきました。石を焼いて作る、本格的な石焼いもで、大変おいしかったですよ。今年来られなかった方も来年はどうですか。

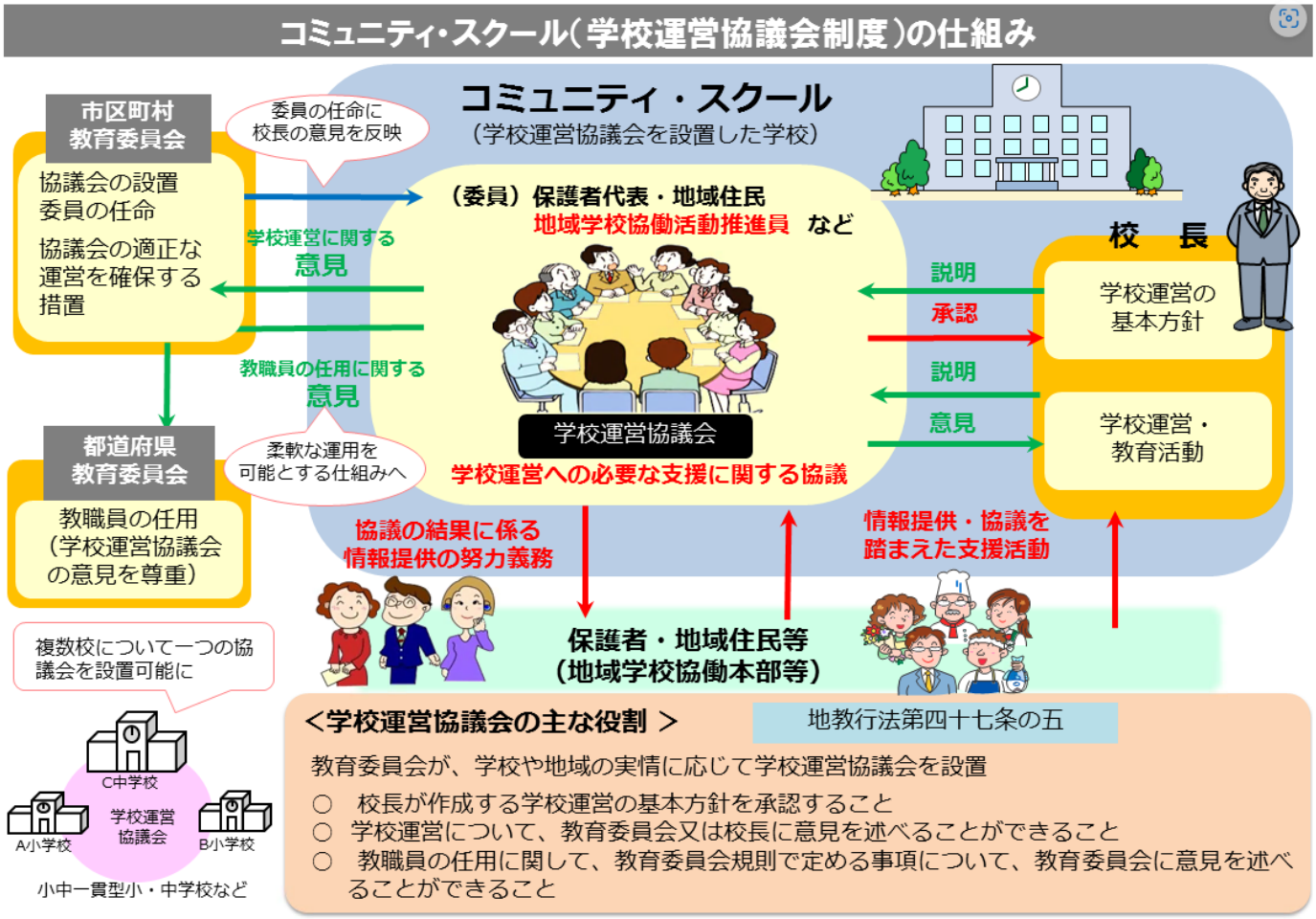
■ 学校運営協議会と地域協働活動委員会

今年度、明生小に発足した地域協働活動委員会について説明します。

鈴鹿市の全小中学校には「学校運営協議会（鈴鹿型）」が設置されています。法律（地教行法第47条の5）に基づいて教育委員会が学校に設置する学校運営協議会には、主な役割として、

・校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
・学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる

の２つがあります。



この運営協議会で熟議された案を具体的に実行する組織として、地域協働活動委員会と称して活動を進め、その活動内容としては、学校ボランティア（草刈り隊・見守り隊・読書ボランティア・おやじの会等）・PTA・自治会等と協力しながら行事への参加及び応援活動を行います。今後も検討を重ね充実した組織及び活動内容にしていきます。